

# 「いじめの声」

## みえ不登校支援ネットワーク

### 文部科学省平成 25 年度いじめ対策等生徒指導推進事業

不登校問題について取り組み、研究するため、平成 22 年度文部科学省委託研究事業により「みえ不登校支援ネットワーク」が設立されました。

当ネットワークは、三重県内の教育・福祉・医療・労働・保健・心理などの不登校に関わる各分野の団体・サービスが、行政と民間の枠を超えて協働し設立した不登校の当事者とその保護者のためのネットワークであり、現在も運営中です。全国でも例のない取り組みとなっております。

当ネットワークは、ホームページにおいて不登校当事者がそれぞれにフィットした支援を継続的に選択・利用できる体制を整えており、県内の不登校に関する最新のニュースや当事者・関係者のインタビュー記事を発信しています。当事者・支援者が出演するフォーラムの開催や、アンケート収集などにより、当事者の声と支援者の情報が循環するシステムを構築しています。

いじめは、不登校につながるケースが多く、今年度は「不登校」に加えて「いじめ」の問題についても取り組みました。いじめを無くしていくための一助となることを願い、いじめ相談、みえ不登校フォーラム、インターネット等を通して、いじめに関わった人たちの声を集めました。先生方のいじめ対応を考えるうえで、ご参考にしていただければ幸いです。

なお「いじめの声」は、当事業に同意していただいた方からのみ集めており、集められた声は、個人が特定されないように若干の編集をしてあります。

ホームページでもご覧いただけます。(http://www.mie-futoko.net/)

#### <内容>

- ① いじめられた人の声
- ② いじめた人の声
- ③ いじめを見た人の声
- ④ 適応指導教室の先生方の声
- ⑤ 適応指導教室の子どもたちの声

## いじめられた人の声

### <Nさんの声> いじめ相談アンケートより

複数の人からいじめを受けた。いじめにあうと嫌な気持ちになり、いじめをしてきた人に会いたくないと思う。親や先生に相談した。先生に相談して、話し合ってお互いが謝って終わり、何も解決しなかった。先生に相談してもよいことは無かった。

複数の人を集めてまでいじめをするのはおかしいと思う。

### <Mさんの声（保護者）> いじめ相談アンケートより

いじめがあった日の夜、本人の訴えで知りました。

4年生の頃くらいから、ひんぱんにハブられたり、悪口を言われたり無視されたりがあり、毎回、話を聞いてやり、学校に相談するがすっきり解決せず、何度もあるので、どうアドバイスすればいいか、私の心の持ち方が分からない。

子どもを守り、ケアするために、子どもの話を聞き、学校に連絡し、いじめをした相手への苦情を出しました。本人の悪いところも注意しました。

受験（欠席数や勉強の遅れ）が気になり、学校を休ませる勇気はありません。

何度も学校を通して、また本人に直接訴えたが、のらりくらりで反省したためしがない。やられ損で怒りをどこへぶつければいいか分からない。

景気がよくなり、ストレスが減れば、いじめも減ると思う。

### <Lさんの声（保護者）> いじめ相談アンケートより

子どもからの訴えでいじめを知りました。子どもが言うには、幼稚園の頃からいじめられていました。

いじめた子どもの保護者にまで話が届かず、曖昧な感じで終わってしまった。もう一歩踏み込んだ対応をしてほしかった。相手への罪の意識へのとどめがなかったと思う。

子どもからは「どうしたらいい？」「どうしたらいい？」と言葉を投げかけられて、とても悩みました。聞き方が悪かったかもしれないが、話を聞くようにしました。

先への不安から、「不登校でもいい」という選択肢はあまりありませんでした。

いじめてる子どもには、何気に言っている言葉や態度が、どれだけ人を傷つけているのかを知ってほしい。

いじめがなくなるためには…生活・心に余裕がもてたら、勉強などで気持ちがモヤモヤやストレスが少しでもなくなり、お互いを認め合う事ができるような世の中になればいいと思う。

周りの大人には、いじめられている本人の気持ちが少しでも前向きになれるようにしてほしいと思う。

**<Kさんの声（保護者）> フォーラムアンケートより**

子どもがいじめを受けていました。現在、高2ですが、当時は中1のことです。

学校側は全く気付かず、訴えても、ほとんど相手にしてもらえず、ないがしろにされました。

子どもは精神を病みました。相談できる先がありませんでした。中1から不登校になり、親子とも、家族が苦しみ、病みました。義務教育の概念、理念を変える必要性を痛烈に感じています。

**<Jさんの声（保護者）> フォーラムアンケートより**

暴力行為のある子どもが、理由なくわが子に手を出してきた。それが分かったのは、わが子のつぶやき「何かに恐れているのかな」

親は子どものふとしたつぶやきを聞き逃してはいけない。

**<Iさんの声> フォーラムアンケートより**

中学・高校のとき、いじめたこともあれば、見て見ぬふりをしたことは何回もあります。しかし「〇〇だったかなあ」くらいで、はっきり内容などは覚えていません。

ですがいじめられたことは今でもはっきり覚えています。私は小学校から高校まで野球をしていましたが、このいじめがきっかけで大学では野球を続けられませんでした。高校のとき、部内で最も仲の良い子からある日、「死ね」などのメールを送られたり、同様のことをネットではげしく書き込まれました。

しかしその子は私に面と向かっては言ってきません。日々、書き込んだり、メールを送ってきたりでした。大好きな野球を大学でも続けるということが、病気になったのでできませんでした。

4年たちますが、今でも苦しいときがあります。

**<Hさんの声（保護者）> フォーラムアンケートより**

ずっと不登校だった子どもが勇気を出して登校したのに、すぐに帰って来ました。ある授業の中で先生が他の生徒の前で「このままでは”1”やに！！」と提出期限の厳守を突き放した冷たい言葉に傷ついたらしいです。

子どもはまた不登校になりました。パワハラではないですか？先生はこの指導を正当化されましたが。子ども同士でも相手が”いじめ”だと感じたらそれはイジメですよ。先生は当たり前前の指導をしたと言われたようですが（担任が中に入って頂いたので）子どもがかばんも持たずに走って帰ってくるほど、それは冷たく突き放した言い方だったと思うのです。先生は反省の色もありません。私がモンスターペアレントなののでしょうか。

<Gさんの声（兄弟）> フォーラムアンケートより

妹がいじめられ、高校中退後、引きこもり、入院。現在、家事手伝い。・・・グレーゾーンかもしれません。

<Fさんの声（保護者）> フォーラムアンケートより

友達に無視された。

<Eさんの声> フォーラムアンケートより

3DSへの書き込み。クラス内グループ無視。

<Dさんの声（義父）> フォーラムアンケートより

部活の上級生より暴行で登校できなくなり、実母に助けを求めたが、自己を全面的に否定された結果、より落ち込んでしまって、ことさら自己否定につながり、いまだ登校できずにいる。この先、大変心配です。

<Cさんの声（保護者）> フォーラムアンケートより

下校のとき、帰りのメンバーの中で、おいていかれたり、仲間外れにされたりした。

<Bさんの声（保護者）> フォーラムアンケートより

あのまま学校に行っていたら、もしかしたら、今、一周忌を迎えていたかも知れない。行かない選択をしてよかった。生きてるだけで丸もうけだと思っています。

<Aさんの声> ネットワークへのメールより

私は中学校二年生です。

いじめられてたのは小学校六年生である男の子たちが六人で“〇〇ごっこ”とやらでいじめられて、小学校の担任の先生は助けてくれたのですが、中学校に入りいじめグループの主犯の男の子が同じクラスになりはじめっからいじめが始まりました。

はじめはその子だけ私をいじめていたのですが、他の新しいクラスの子までいじめに加わり“〇〇ごっこ”が復活して、あと暴言、暴力、クラスのみんなからのシカト、仲良しだった友達の裏切り、一番ひどいのは一年にもって貰った担任の先生は私が助けて欲しいのに、何もせず返っていじめグループの肩をもって私をせめたてた。

最後の登校の日もお祭りで学校の授業で会社を作ろうと言うのがあって、一生懸命頑張ったのに誉めてもらえず、帰れの一点張りでお母さんも駆けつけてくれたのですが、お母さんが“大事な娘を命掛けで産んだ娘をこんな体にして”とお母さんが言うと、先生の中から“そんなの関係ない！”と言いはりました。

私は自殺まで考えていました。精神的にボロボロにされて、私としたら学校にも行きた

いし部活もしたいのに体が拒否反応をしてしまい学校には行きたくても行けません。なぜなら、あの先生とあのいじめたクラス全員がいるから。今は毎日適応教室に通っています。だいぶ道のりは遠いけどあの中学校に行くよりかはずっとましです。

不登校になってから九ヶ月になりますが、精神科の病院に通院しています。なんで、私がターゲットにされなくては行けないのか、どうして先生はわたしにそんな仕打ちをして、人生めっちゃグチャにされやないけないのかわかりません。

皆さんはどう思いますか？

## いじめた人の声

### <Aさんの声（いじめた経験のある大人）> ネットワークへのメールより

大人になった今でも、思い出して後悔することがあります。私はどちらかというといじめられた経験が多かったのですが、今思うと、あれは相手から「いじめ」と思われたらうなあとということもあります。

中学1年生のときに、ある男子（A君）が、B君を無視しようといいはじめました。私には理由が分かりませんでした。私はできるだけ「いじめ」に加担しないように、B君に話しかけたり、一緒に遊んだりしましたが、周りのみんなはA君にしたがって、B君を無視し続けました。重苦しい空気がクラスに漂っていました。

ある日、めずらしくB君が「日曜日に僕と遊ぼう」という約束をしてきました。それは初めてのことでした。その約束の日、自宅で待っていたら、いつもの遊び友達のC君が遊びに来ました。そして「僕のお家で遊ぼう」と言いました。私はB君が来るので、どうしようか悩みましたが、C君の家は歩いて1分もかからない場所にあったので、家族にB君の家にいるということを伝えて、C君の家に行きました。私は断るのが怖い弱い人間でした。

2人でゲームをして遊んでいたら、B君がやってきました。C君はB君と遊びたくないといい、居留守をしようといいました。私は、自分が不公平なことをしないことには拘りがあったのですが、他人の不公平な行動に対して意見することはできませんでした。私はC君をいさめることができず、一緒に居留守をしてしまいました。（C君のほかの家族は出かけていませんでした）

次の日、学校に行くのがとても辛かったです。私はB君が話しかけてきたとき、「気付かなかった」と、とぼけるしかありませんでした。そこには微妙な心のやり取りがありました。「C君が、君と遊びたがらなかった」という事実を伝えるのもつらいので、本当のことが言えないのです。

私もまた「いじめ」に加担した一人ということでした。

いじめが発覚したのは、クラス委員を決めるとき「みんなでB君に入れよう」とA君が陰で提案し、多くの男子がその通りに行き、先生が「これはおかしい」と気付いたことによります。投票結果に偏りがありすぎたのです。

私はB君には入れませんでした。私は「誰が誰に入れたか分からない投票でさえも、みんながいじめに加担してしまう」ということに、とても驚きました。いじめをはじめたA君のことが怖くて、みんなが無視しているのだと思っていましたが、今、このことを考えてみると、それを楽しんでいた人も多かったのだと想像することができます。それはとてもショックなことです。

担任の先生はとても温厚な人柄だったのですが、初めて怒りを表明しました。ホームルームの時間に、全員に怒ったのです。私は驚きはしましたが、それほど怖くはなかったです。でもたったそれだけのことで、そのいじめはおさまりました。

実際、A君は元々そんなに怖い人柄ではなく、面白い人でした。実は、A君は小学6年生の時に、とてもひどいいじめをクラスのほとんどの人から受けていました。私はその時、同じクラスではなかったのですが、A君と同じクラスにいた友人から、様子を聞いていました。

A君がいじめに夢中になったのは、やはり小学6年生の時の経験があったからだと思います。やられたことをやり返すということを、どうしても止めることができなかつたのだと私は思います。

私の学年は、比較的温厚な学年だったと思いますが、それでも小学校にも中学校にも「怖い人」は何人かいました。そばを歩くだけで緊張してこわばってしまうような人もいました。「何を言われるか、何をされるか」と心がざわつくのです。大人になっていろいろな事情が分かってきます。そのような人たちは、家庭が不和だったり、何か問題があったりする家庭で育ってきたということが分かってきました。A君がいじめられたように、彼らもつらい経験をして「誰かにやられたことをやり返さずにいられなかつた」のだと思います。

しかし子どものころには、そんな事情なんて分からなかつたし、ただただ「怖い」ということがあるだけだと思います。

私の場合、いじめに加担してしまったのは「嫌われたくない」という心理が働いたからだだと思います。つまりは「自分に自信がないから」ということでしょうし、それは「私は私のままでいい」「私は私の考えに従って動く」ということが、育まれてこなかつたということだと思います。

色やその深さは違いますが、いじめの首謀者になってしまうことも、いじめに加担してしまうことも、「大切にされてこなかつたので、自分に自信がない」ということについて言えば、同じ方向のことなのかもしれないと思います。ひどいいじめをしてしまう人は、そのような「大切にされない」「ひどい目に合わされる」という経験が過酷すぎることによって、あまりにも心の深くまで浸食されている人たちなのではないでしょうか。

奪われた心のエネルギーを、だれかから奪うことで埋め合わせることが「いじめ」なのかもしれません。殴られれば殴られるほど、殴らずにはいられなくなると思います。「“奪わなくても満たされる関係”を作ることができる」という可能性を示していくことが、いじめを無くしていくために必要なことだと思います。そうすると子どもだけの問題ではありません。当然、大人も生き方が問われているのだと思います。

## いじめを見た人の声、その他

### <Bさんの声（教員）> フォーラムアンケートより

いじめは、いじめる側が問題だと思う。

いじめがいけないことは、誰でもわかる。ぜったいにダメ！

いじめをしてしまうほど、心が病んでいるのかもしれない。

### <Aさんの声（相談員）> フォーラムアンケートより

メール、ラインなど、周囲の人（友達、親も含め）が、気づかないところで、いじめが行われており、規制ができない。知らないところで傷ついている子どもが、大勢いると思われる。



## 適応指導教室の先生方の声

回答数・・・9/19カ所

質問① いじめが原因で貴教室に通っているお子様はいらっしゃいますか？

	いる	いない	内訳
教室 A		○	
教室 B		○	
教室 C	○		いじめられた…2名
教室 D	○		いじめられた…6名
教室 E	○		いじめられた…2名
教室 F	○		いじめられた…6名　いじめを見た…1名
教室 G	○		いじめられた…3名
教室 H	○		いじめられた…3名
教室 I	○		いじめられた…2名

以下、別教室の場合は同じ内容でも重複して記載。

質問② ①で「いる」と答えた方をお願いいたします。どのような「いじめ」か、できる範囲内でご記入ください。

- ・小規模校でクラス15人くらい、現在小学校6年生。一人のある友だちとのトラブルがいつの間にかクラス中に広がり、味方が一人もいなかった。悪口、仲間はずれなど、親も巻き込んでのトラブルに発展。教室には入れなくなり、不登校に。センターに通級して1年。
- ・小学校3年頃から不登校傾向。現在中学1年。中学校へは入学後、1週間ほど登校。本人に学校へ行かない理由を尋ねると、「先生に怒られる」「みんなからいろいろイヤなことを言われる」と言う。受診や検査をしていないので、診断は出ていないが、ADHD等の発達障がい傾向が強く見られる。
- ・仲間外れにされた。
- ・一人の子に執拗につきまとわれた。そのことを先生に相談するために書いたノートを友達に見られ、以後嫌がらせを受ける。
- ・ライン上のトラブルがきっかけで、悪口メールを送りつけられた。
- ・イヤなことを言われる（と感じる）
- ・嫌がらせをされる。
- ・本人の特徴を理解されない形で接してきた。
- ・部活で、手を出された。嫌なことを言われた。

- ・待ち合わせに友達が来なかった。
- ・メールで悪口を回されて、仲間はずれにされた。
- ・ゆっくり行動する特性を認めてもらえず、異性の友達から言葉の暴力を受けた。
- ・おもしろいキャラできたが、高学年になり周囲が成長する中で、友達とのトラブルとなり周りから刺激をうけ、物を隠されたり、汚されたりして、次第に孤立していった。
- ・友人関係のトラブル。
- ・メールやブログを使ったトラブル。

質問③ いじめへの取り組みについて、どのような支援があればいいと思いますか？

○加害者 → ●心のケアをするスタッフ（カウンセラー）

- 良くないことをしていることについては、毅然とした態度で叱る。本人を責めるのではなく、していることの非を叱る。自己肯定感を持っていないで育ったことで、いじめに走っている場合があるので、そのあとのケアとして、「あなたは、大事な子だ。」と思えるような事後支援が必要だと思う。
- いじめは絶対にしてはいけない、と言うことを周りの大人が徹底的に教え、言い続けること。そして、なぜ、いじめるのか、自分の気持ち、相手の気持ち、これからの生き方などに至るまで、話を聞いてあげること。
- 加害者側も心的な問題を抱えていると思います（本人に自覚がなかったとしても）。いじめというできごとだけを取り出して裁判のように裁いても解決はしないと思います。その子の根本的な問題に本人が気付くためにも話を聞くことが大切かと思います。
- 話（言い分）をていねいに聞いてくれ、自分を振り返る場
- 居場所となる場所の確保。本人にいい影響を与える人材や環境を活用すること。
- 育てられてきた過程を踏まえ、適切な支援と指導。
- 本人のいいところを認めてあげること。
- いじめの背景にある気持ちを紐解いて、加害者である事への後悔の気持ちをいだかせる。
- 自尊感情をあげる。声かけを意識的に教員が行う。悩みやイライラした気持ちをしっかり受け止めきいてやる。
- なぜ人をいじめられるようなことをしなければならなかったのか、その行為の背景を理解できるように努める。
- ソーシャルスキルトレーニング。

○被害者 → ●心のケアをするスタッフ（カウンセラー）や安心して学習できる場

- 誰でもいいので、誰かにSOSを求めることを、予め、すべての子どもに話しておく。いじめが発覚した事後対応としては、まずは、傷つい

た心のケアに徹する。やはり、自己肯定感が持てるように支援する。臨床心理士の力を借りるのも良い。ゆっくりと、一つ一つ傷ついた心を癒していくようにすると良い。心労がひどい場合は、医療のケアも必要だし、加害者との物理的距離を置いたほうが良い場合もある。まずは、ゆったりと受け入れ、家族の協力を得て、規則正しい生活リズムができるように、徐々に心が癒されるような環境を整えると良いと思う。

- とにかく話を聞いて、守ってあげること。安心できる居場所を提供すること。
- 客観的事実と本人が受け取った思いがずれていることがあります。たとえば人からは「本人も悪い」とか「それはいじめではない。気にしすぎ」と思えることでも、まずは本人がどのように傷ついたのかを十分に聞くことが大切だと思います。
- 加害者と顔をあわせないようにする。
- いじめを思い出させるような話題に触れない。
- 安心して過ごせる場。自己肯定感を高められるような活動や経験。
- 居場所となる場所を確保すること。心のケアを時間をかけてすること。
- 信頼関係を築くこと
- いじめにあった精神的苦痛から逃れるためには、一時的な避難も必要なことを伝える。じっくりと時間をかけて、心の傷を癒していく。
- 助けを求めるスキル、その場から去るスキル、物事の捉え方を前向きにするためのスキルアップさせるトレーニング。
- つらい気持ちを受け止める、今後について一緒に考える。安心して助けを求めるシステムづくり。
- 安心・安全な場所と人間関係を提供する。
- ソーシャルスキルトレーニング。

○見た人 →

- 価値観の多様性を教える場や個性を認める教育
- これも事前に、いじめを見たらどうするかをすべての子どもに話しておく。先生に伝えると自分がいじめられるという恐れがあるなら、先生ではなく、他の誰でもいいし、無記名で間接的に誰かに伝えるようにすることを徹底指導しておく。一人の人間の尊い命に関することだからと、心に留めるように話をしておくといよい。見てみぬふりは、間接的に一人の人間の命を奪ったり、傷つけたりしていることになるということを考えあう時間を取っておく。いじめが発覚した後としては、見た人に話を聞く場合には、確かな事実と、憶測での言葉とを区別して聞き取りをする。また、見ていた人もかなり傷ついていると思うので、心のケアが必要である。黙っていたことをとがめずに、今、話せたことを慰労する。

- 勇気を出して、大人に見たことを伝えるように教える。見ても知らないふりをするのは、いじめを肯定することに値する、伝えることはいじめの加害者、被害者とも救うこと、正しいこと、と言うことを理解させる。また、伝えたことで、決して辛い思いはさせないと言うことも告げること。
- 子どもたちは先生に言うことをチクリだととても警戒しています。それは先生に報告することでいい解決をした経験がないからかとも反省しています。「いじめられている人はもちろんだけれど、いじている人も何か問題を抱えているのかもしれない。先生はそんな人たちの力になりたいので、みんなに協力してほしい」ということをクラス全体に伝え、見た人が相談しやすい配慮をする必要もあるかと思います。普段から「あの先生なら」という信頼感を作っておくことが大切だと思います。
- 心のケアを大切にすること。
- いじめによって命を落とす人がいる現実に向き合わせるために、丁寧な話し合いをする。いじめはみんなが向き合う事で必ずなくせるという心情を育てていく。
- 見た人がすぐに伝えることのできる雰囲気づくり。安心して助けを求められるようなシステムづくり。声をかける勇気を育てていくこと。
- 傍観者もいじめと一緒にあるとの認識を持ってもらえるよう教える。
- ソーシャルスキルトレーニング。
- 集団作り。

○自由記載→

- いじめをなくす・減らしていくためには、予防・早期発見・早期対応が大切だと考えられる。予防に関しては、すべての教職員がいじめほどの児童生徒にも起きうるものであるという意識を持ち、年度初めや学期初めのときなどに、いじめとは「生きる力を壊し、心に傷を植え付ける」行為であることを伝える必要がある。つまり、いじめはその場限りの痛みやショックを与えるだけに留まらず、その人の将来の人格形成や対人関係にまで後遺症を残すような「犯罪」に匹敵するものであることを伝え、理解させたい。例えば、いじめが原因となって不登校になってしまった児童生徒の中には、進学・進級などによって新しい環境になったとしても、良好な人間関係を築けない子もいる。
- 早期発見・早期対応に関しては、学校において、いじめにつながる行為やいじめ行為に対するアンテナを高くすることが必要である。そのためには、担任だけでなく児童生徒に関わるすべての教職員が日常的に情報交換をできる環境をつくり、児童生徒への声かけをこまめに行い、教職員と相談・話がしやすい雰囲気をつくりだすことが大切であると考え。

いじめが発生したときには、その場で見つけた教職員が注意・指導を行うとともに、学級担任・学年主任・学年生指担当者・生指主任・管理職などに報告・相談を行い、学級担任だけが抱え込まないような学校体制作りが必要不可欠である。その後の事実確認については、加害者・被害者・見た人それぞれの立場の児童生徒から十分に聞き取り、家庭連絡・特に加害者・被害者に関しては家庭訪問を行い、必要に応じて保護者召喚をするなどのスピーディーな対応が望まれる。

対応後にも学級（学年・学校）全体への指導を行うとともに、加害者・被害者へのフォローを忘れず、その後の様子や気持ちを聞き取っていくことや、保護者にその内容を伝えていく必要がある。対応後のフォローがお互いの信頼関係を築くことにつながっていくと考える。

また、学校の対応が上手くいかなかったときは、子ども支援室・適応指導教室・教育委員会などの第3者が間に入ることで、客観的な視点で解決への方向性を示すことも必要である。そのためにも、学校が積極的に関係機関との連携を十分にとっておくことが大切だと考える。

## 適応指導教室の子どもたちの声

回答数・・・9名

I 「いじめをした側」の方におうかがいします。

(1) いつ位から、何人位、いじめをしていますか（していましたか）？

回答者	いつ位	何人位
A	中1の冬	3人
B	—	2人
C	中1	1人

(2) いじめをするとき（したとき）の気分はどうですか？

回答者	気分
A	不安な気持ち
B	—
C	いじめているっていう気持ではなかった

(3) いじめをしてしまう（してしまった）のには、どんな理由があったと思いますか？

回答者	理由
A	友達が悪口を言ってきたのでやり返し
B	—
C	相手のことがあまり好きではなかったし、嫌いだったから

(4) いじめられた側の気持ちを考えたことはありますか？

回答者	相手の気持ちを考えたこと
A	ある
B	—
C	あんまりない

(5) いじめるのにも、それなりの理由があるので仕方ないと思いますか？

回答者	仕方がない？
A	仕方なくはないと思う
B	—
C	やっぱりいどんな理由があっても、いじめをするのは絶対によくないと思う

(6) どんな内容のいじめをしましたか?できれば具体的に教えてください。

回答者	内容
A	無視。その子のいないところで悪口を言う。
B	—
C	話しかけられても、聞こえているのに聞こえないふりをして、ちょっと無視したり、他の友達と一緒にいて、その子のことを微妙にさげたりしていた

(7) いじめがなくなる(いじめをしなくなる)ためには、どんなことがあったらいいと思いますか?

回答者	どんなことがあったら
A	先生がただのケンカと思わず、注意すること
B	—
C	気づいた人たちが注意したり、周りの子のこともよく見るようにすること

(8) いじめられている側に伝えたいことがあれば、ご記入ください。

回答者	いじめられている側に伝えたいこと
A	周りには絶対に助けてくれる人がいるので、その人に頼ってみる
B	—
C	

(9) 周りの大人(園や学校の先生、専門家の人々、保護者や地域の人たち)に言いたいことがあれば教えてください。

回答者	大人に言いたいこと
A	ない
B	—
C	見て見ぬふりをせずに、ちゃんと気付いたら注意をしてほしいです

Ⅱ 「いじめをされた側」の方におうかがいします。

(1) いつ頃から、何人位にいじめてにあっていましたか？

回答者	いつ位	何人位
A	中2の夏	3人
B	—	10人位
D	—	1人
E	中2の頃	2~3人
F	—	—

(2) いじめにあうと、どんな気持ちになりますか？

回答者	気持ち
A	自分のことが嫌になる
B	
D	—
E	消えちゃえばいいのになんども思った
F	いやな気持ち

(3) 今までにこのことを誰かに相談したことはありますか？もしあればご記入ください。

回答者	相談したこと
A	カウンセラーの先生
B	
D	—
E	親とか先生とか
F	—

(4) 『(3)をお答えになった方に』どのように対応してくれましたか？

回答者	対応
A	ていねいに対応してくれた
B	
D	—
E	注意する
F	—



- (5) 『(3)をお答えになった方に』相談してみてよかったですか？もし複数あれば、よかったところ、よくなかったところ等も教えてください。

回答者	よかったこと・よくなかったこと
A	よかった
B	
D	—
E	注意なんてしなくて良かった。もう中2なんだし、そういう子どもっぽい解決をしたいわけじゃなかった
F	—

- (6) 自分には、いじめられる原因や、いじめられる理由があると思ってしまうか？どんなところがそうだと思いますか？もしよければ教えてください。

回答者	原因・理由
A	ある。人のことを思いやる気持ちが少なかった
B	
D	ない
E	男好きで、ぶりっ子だから
F	—

- (7) いじめている相手に対して、どう思いますか？どんなことでもよいのでお答えください。

回答者	相手をどう思うか
A	今は仲直りできました。ただ“ごめん”の一言でした
B	ムカつく
D	なんでいじめるのか
E	お前みたいなブス、一生幸せになれねえよ。呪われろ。と思います
F	—

- (8) いじめられている自分を守ったりケアしたりするために、何か自分なりにしてきたことはありますか？

回答者	自分なりにしてきたこと
A	カウンセリング
B	
D	
E	ありません。
F	—

- (9) いじめがなくなる(いじめられなくなる)ためには、どんな世の中になればいいと思いますか？

回答者	どんな世の中になればいいと思うか
A	みんながみんなを思いやれる世の中
B	
D	
E	何事にも動じなくなればいいと思う。
F	—

- (10) 周りの大人(園や学校の先生、専門家の人々、保護者や地域の人たち)に言いたいことがあれば教えてください。

回答者	大人に言いたいこと
A	なし
B	
D	
E	特になし
F	—

### Ⅲ「直接関わっていないが、近くで見ている」方におうかがいします

(1)近くで見ている(いじめることも、いじめられることもしていない)立場なのはどうしてですか？

回答者	どうしてですか
G	関わりたくなかったからです
H	関わりたくなかったから
I	—

(2)近くで見ていることは、どんな気持ちですか？(楽しいですか？悲しいですか？)

回答者	気持ち
G	何も思いませんでした
H	良い気持ちはしなかった
I	—

(3)いじめを止めようと行動したことはありましたか？

回答者	止めようとしたこと
G	ないです
H	しようとしたけれどできなかった
I	—

(4)いじめる側は、どうしていじめをするのでしょうか？お分かりになる範囲でいいので教えてください。

回答者	どうして
G	ストレスの発散だと思います
H	分からない
I	—

(5)いじめられる側にも責任はあると思いますか？反対に、いじめられる側は全く悪くない(いじめる側が全てよくない)と考えられますか？もし理由等もあれば教えてください。

回答者	どうしてですか
G	場合によると思います
H	いじめられる側に責任はないと思う
I	いじめられる側にも責任があることもある。今までいじめられていた側が、逆にいじめていた側にやり返すこともあるから

(6)いじめがなくなるためには、どんな風に世の中がなればよいと思いますか？

回答者	どんな世の中に
G	いじめられる側が相談しやすいようになればよいと思います
H	いじめについて真剣に考える
I	一度、携帯電話（LINE などのいじめ）や学校そのもの（人が集まる場所でいじめが多いから）などをなくして、不便にすればよい

(7)周りの大人(園や学校の先生、専門家の人々、保護者や地域の人たち)に言いたいことがあれば教えてください。

回答者	大人に言いたいこと
G	—
H	無いです
I	—